

記入日：

2018年9月18日

活動名	カラーバリアフリー社会の実現を目指す		団体名称	NPO法人 True Colors
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
			活動の目的	⑧その他
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
<p>色の見え方が違う色覚少数派と、多くの人の見え方の色覚多数派を対象に、少数派には色覚補正レンズ・多数派には色覚特性体験レンズを使いながら体験型イベントを実施することができました。</p> <p>ポスターや風景を貼った空間、緑の光の部屋や緑のメガネをかけて絵を描く空間、プロジェクションマッピングで色の見え方の違いを分かりやすい説明するという内容で大阪・東京で体験型色覚イベントを実施することができました。</p>		<p>2018 3.25 大阪会場 2018 8.18 東京会場</p>		<p>■大阪イベント：会場が広く148名の方が訪れました。子育て支援のNPO法人ママトリエと共催で参加型イベントとして多くの方が楽しむものになりました。</p> <p>毎日新聞や大阪日日新聞がイベント紹介記事などにより、朝から色覚少数派が並びました。</p> <p>■東京イベント：48名の方が訪れました。会場が狭いにも関わらず、皆の協力で上手にレイアウトできました。プレスリリースには東京新聞がイベントスケジュールを、墨田区役所が「すみだ区報」に掲載していただきました。</p> <p>ビルの9階で通りすがりの人などは呼び込めない中、色覚少数派の小学生～大人、少数派の家族を持った方など来場され、賞賛の声をいただきました。</p>
■活動目標		色の見え方は、それぞれ違うということを分かり合えること。特に色の見え方が違う色覚少数派にとって苦勞や不便が軽減される社会をめざす。		
■長期成果		先天遺伝で医療で治癒しないことから、苦手な色を見ることを諦めています。カラーバリアフリー社会で安心できる環境になります。同時に自分自身の色の見え方を補正レンズにより、解決出来ます（当事者の98.2%）。諦めていた進路選択や趣味や仕事に希望を持てるようになります。カラーバリアフリーを環境と自分自身に感じられる社会に。		
活動風景				
				
【色覚体験・補正レンズ体験】		【プロジェクションマッピング】		【みどりのメガネをかけてお絵描き】
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
<p>（得られた成果）</p> <p>・色覚少数派は色覚補正レンズにより、今まで苦手だった色や見分けにくかった色を見ることができると知り、趣味や仕事などで諦めていた夢にむかうことができました。</p> <p>また、色覚多数派は、色覚特性体験レンズにより、色覚少数派の見え方が全ての色が見えないわけではないことを知っていただき、理解者の拡大につなげることができました。</p> <p>・これらの体験を通じて、双方向の理解が深まり、多くの人が見えやすく安全な社会づくりに貢献できる支援者の増加につなげることができました。</p> <p>（今後の課題）</p> <p>色覚少数派は、人から見て分からない障がいであり（障がい認定されていない）、健常とも違うグレーゾーンである悩みの解決が必要です。</p> <p>また、先天異常にも関わらず、理解不足による差別意識が根強い問題である。このような状況を解決のために、助成金で制作した絵本やDVDを日本国内に広くアピールするために、様々な団体との協働関係を構築し、理解者・支援者づくりに取り組んでいきたいと思っております。</p>		<p>・すでに大阪では多くの教育現場や行政で体験研修会を開催してきていることから、色の見え方が違うことは、性格や顔も違うように皆違って当たり前、という認識ができています。</p> <p>これらの活動を通じて、治癒しない色覚異常だけれど、色覚補正レンズがあることを知ることにより、解決・改善に繋がり、当事者・関係者が夢を諦めないで良いことを理解できる環境が少しずつ拡大してきています。</p> <p>・東京墨田区で初めて実施した体験イベントでは、光の情報量の違いで色の見え方が違うことを理解するために制作した愛知工科大学のプロジェクションマッピングを活用し、色覚特性に対する理解者拡大等に繋げることができました。東京開催での参加者の多くは、色覚問題の初歩的な課題を抱えており、体験プログラムを通じて、理解者を増やしていくことの重要性を認識しました。（小学校などの職員の勉強不足による対応の悪さなど）</p>		<p>・色覚少数派にはその人に合った色覚補正レンズ、また、色覚多数派には色覚補正レンズの真逆の理論でできた色覚特性レンズでの双方向性の体験は、当法人独特のものであり、さらに、プロジェクションマッピングは、愛知工科大学加藤研究室とのコラボレーションで学生の卒論テーマとして取り組んでいます。</p> <p>・緑の部屋・メガネでのお絵描きは、「光の3原色（赤緑青）の緑に特化したらどう見えるか？」など、実験的な試みです。NPO法人ライフスキル研究所とコラボレーションし、情報の共有を行うことにより、新たな体験プログラムとして積極的に取り組むこととし、ホームページやフェイスブックなどを通じて、積極的に発信していきます。</p> <p>・併せて、大阪・東京のイベント特集としてニュースレターを制作しましたので、多くの関係団体等に発信していきます。</p>
〒541-0056 （住所）大阪府大阪市中央区久太郎町4-2-10 大西ビル3F ネオ・ダルトン(株)内 （団体名）NPO法人 True Colors （ホームページ）：http://www.truecolors.jp				<p>助成金額 1,000,000円</p> <p>助成期間 H29.9.1～H30.8.31</p>

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。